

< 人権カレンダー > (11 月 ~ 4 月)

◆11 月
(児童虐待防止推進月間)
「虐待かなと思ったら
迷わず通報」



大阪府富田林子ども家庭センター
相談は : 0721-25-1131
虐待通告専用電話 : 0721-25-2263
夜間休日虐待通告電話: 072-295-8737

20日 世界子どもの日
12月 ~ 25日 女性に対する暴力をなくす運動期間
25日 女性に対する暴力撤廃国際日
25日 ~ 12月1日 犯罪被害者週間

◆12月
1日 世界エイズ・デー
3日 国際障がい者デー
3日 ~ 9日 障がい者週間
4日 ~ 10日 人権週間
10日 人権デー
10日 ~ 16日 北朝鮮人権侵害問題啓発週間



◆1 月
15日 ~ 21日 防災とボランティア週間



◆3 月 (自殺対策強化月間)
・特定非営利活動法人 自殺対策支援センターライフリンク
いのち SOS : 0120-061-338
毎日 24 時間

・一般社団法人 日本いのちの電話連盟
いのちの電話 : 0120-783-556
[毎日 16 時 ~ 21 時
毎月 10 日は 8 時 ~ 翌日 8 時]

8日 国際女性デー
21日 国際人種差別撤廃デー
21日 世界ダウン症の日



◆4月
2日 世界自閉症啓発デー
2日 ~ 8日 発達障がい啓発週間

< 編集後記 >

人権という言葉の響きに身を引かれる方もおられるかもしれませんが、当協会では人権のことをできるだけわかりやすくお伝えできるよう各種催しを展開しています。この協会だよりで活動内容を少しでも理解いただければ幸いです。

< 女性のための電話相談 >

女性のためのつながりサポート河内長野

ひとりで悩みや不安を抱えていませんか？誰かに話すことで、気持ちが楽になり、心の整理ができるかもしれません。相談は専門の女性カウンセラーがお聴きしますので、まずは専用電話にお電話ください。

専用電話 : 090-8967-2750

相談日時 : 毎月第1・3月曜日、第2・4木曜日
午前10時~午後4時(年末年始、祝日は休み)

< 総合福祉相談 >

CSW (地域支援相談員) の有資格者がご相談に応じます。健康・医療・障がい・経済・生活基盤…、様々な問題を一緒に検討し、解決への糸口を探ります。



専用電話 : 090-6980-5532 (ショートメール可)

< 進路選択支援相談 >

奨学金をはじめ、お子様の進学 (進学後も含む) に関する教育資金の調達方法、その他についてご相談に応じます。
(電話 0721-53-1111 内線 575・577)



< 人権あれこれ相談 >

人権問題のみに限らず、身の周りの様々な問題について、「どこに相談したら良いか判らない」「どんな選択肢が考えられるか判らない」等の場合も、一緒に検討し、ご相談に応じます。



市役所5階で、秘密厳守にて承っています。
事前に電話予約の上お越しください。
(電話 0721-53-1111 内線 575・577)

発行・編集 : 河内長野市人権協会

〒586-8501 大阪府河内長野市原町1-1-1

(河内長野市役所5階 人権推進課内)

電話 0721-53-1111 (内線 575・577) FAX 53-1955

<https://www.kawachinagano-jinken.join-us.jp>



人権協会だより

河内長野市人権協会

思いやりとぬくもりのある人権尊重のまちづくり vol. 25
-2025.11.1-

令和7年度 啓発活動重点目標 (法務省人権擁護局) 「 誰か 」 のこと じゃない。

令和7年度 (下期) 活動予定

■人権を考える市民の集い 【 講演と紙芝居 】

- ・日時 : 11月29日 (土) (開場 13:00)
- ・場所 : 河内長野市立文化会館 ラブリーホール 小ホール
- ・第1部 式典 : 13:30 ~ 14:00
- ・第2部 講演会 : 14:00 ~ 15:30
演題 : 「 優しい紙芝居が紡ぐ人との繋がり
~ 今を生きるすべての人へ ~ 」
講師 : 小川よしのりさん (紙芝居師) (写真右)
●上演予定の紙芝居 : 「ポキールの時計」「かさじぞう」「パチパチいれて」



■映画「めぐみ~引き裂かれた家族の30年」上映会

- ・日時 : 12月20日 (土) 13:30 ~ 15:30 (13:00 開場)
- ・場所 : 河内長野市立文化会館 ラブリーホール 小ホール



■共に生きるまちづくりをめざして講演会



- ・日時 : 令和8年1月31日 (土)
13:30 ~ 15:30 (13:00 開場)
- ・場所 : 河内長野市立市民交流センター キックス イベントホール
- ・演題 : (仮) 「 発達障がいの正体の一端に迫る 」
~ 原点に立ち返りながら、より深く ~
- ・講師 : 笹森理絵さん (写真左)
(社会福祉士、精神保健福祉士、睡眠健康指導士/上級)

市民サロン (市役所1階) 展示

- ・10月31日~12月15日
- ・人権啓発展示「子どもの権利条約」「拉致問題」「さまざまな人権問題」「世界人権宣言」等を展示

子ども人権・平和啓発ポスター展 (WEB開催)

- ・11月1日~令和8年1月13日
- ・河内長野市人権協会ホームページにて、市内小中学生から募集した「人権・平和啓発ポスター」全695点の作品を公開

人権週間 (12月4日~10日) 啓発活動

- ・11月28日~12月11日
- ・河内長野・三日市町両駅前に啓発横断幕を設置するほか、市公用車に啓発マグネットステッカーを貼付

※ここに記載の行事等は、予告なく中止や変更になる場合があります。詳しくは人権協会のホームページをご覧ください。

令和7年度（上期）活動報告

■憲法週間啓発活動（4月30日～5月8日）

河内長野・三日月町両駅前ロータリーに啓発横断幕を設置したほか、市の公用車に啓発マグネットステッカーを貼付しました。



▲憲法週間啓発横断幕（三日月町駅前）

■令和7年度 総会（5月28日・市役所で）

令和7年度の総会は、39名の出席（委任状提出者104名）を得て、市役所会議室で開催。全議案について賛成多数により可決承認されました。また功労者4名の方へ感謝状と花束を贈呈しました。



▶花束贈呈

■千羽鶴献納（6月5日～7日）



愛・いのち・平和展などで市民のみなさんが平和の祈りを込めて折った千羽鶴を、西中学校にお願いし、広島への修学旅行時に平和公園に献納していただきました。

◀原爆の子の像の前で千羽鶴を献納し平和への祈りを捧げる西中学校のみなさん

■図書館1階展示（7月7日～8月4日）

「夏休み子ども平和施設見学会参加者募集」と「愛・いのち・平和展」のお知らせを展示しました（写真右）。



■市役所1階市民サロン展示（7月1日～8月14日）

「愛・いのち・平和展」のお知らせや「小中学生の人権平和ポスター」、ウクライナやガザなど戦時下にある地域の直近の「国連ニュース」、易しい解説の「こどもと学ぶ太平洋戦争」、北朝鮮の拉致問題に関する「たいせつなひとをとり戻すために」、千羽鶴など平和への取り組みを取り上げた「平和への祈り」などを展示しました。



▲平和への祈り・国連ニュース



▲こどもと学ぶ太平洋戦争



▲たいせつなひとをとり戻すために

■共に生きるまちづくりをめざして映画上映会

（9月27日 キックスで）来場者169名

映画「校庭に東風吹いて」（沢口靖子 主演）を上映しました。

予想を上回るたくさんの方に参加していただきました。参加者の皆様から、今まで知らなかった心の病を知ることが出来た、心温まる映画でした、とてもよかった、感動した、大変勉強になった、などの感想をいただきました。



戦後80年 伝えよう！平和といのちの大切さ

愛・いのち・平和展

7月25日・26日（キックスで）

今年は、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館からお招きした伝承者・長峰由紀さんによる広島被爆体験伝承講話、広島平和

記念資料館からお借りした「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル」などの展示、市内在住の浪曲師・三原麻衣さんによる佐々木禎子さんを語った浪曲「はばたけ千羽鶴」の口演、戦時品や市内の小中学生による「人権・平和ポスター」の展示、映画「あ

の花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」の上映、折り鶴コーナー、平和のメッセージボード、平和音楽会、おはなし会など戦後80年に関する催しを展開。バルーンアートや水彩画でポストカードづくり、牛乳パックで竹とんぼづくりなど世代を問わず参加できる催しや三笠焼の試食会なども実施。495名の来場者に、平和といのちの大切さについて考えていただきました。



▲三原麻衣さんの浪曲（曲師：虹友美さん）



▲小中学生人権・平和ポスター展



▲水彩画でポストカードづくり



▲ミレニア吹奏楽団による平和音楽会



▲ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル



▲戦時品の展示

夏休み子ども平和施設見学会

8月22日（sora かさい・周辺の戦争遺跡）

指導者養成事業も兼ねた催しに小学生とその保護者ら総勢36名が参加。バスをチャーターして、兵庫県加西市観光協会のガイドさんの案内で戦闘機「紫電改」「九七式艦上攻撃機」の実物大模型などが展示されているsora かさいや隣接する鶴野飛行場滑走路跡、巨大防空壕跡、対空機銃座跡などの戦争遺跡を見学しました。

巨大防空壕シアターでは、特攻隊として飛び立つ青年が親宛てた手紙を読み上げる映像が再現され、参加者は静かに見入っていました。参加者からは、「親子で飛行場や防空壕を見て、テレビなどで見るだけでは伝わり切れないもの、勉強になりました」などと感想をいただきました。



▲九七式艦上攻撃機（上）・紫電改の模型の前でガイドさんの説明を聞く参加者（sora かさいで）



▲巨大防空壕跡ではヘルメットを着用